

令和5年度 第3回

青森県難病医療ネットワーク研修会

難病患者が利用できる制度やツール について詳しくなろう！

～Part4. 難病とコミュニケーションツール～

2023.12.5 火 18:00～19:45

難病患者は長期的な療養を要し、患者の疾患や症状によりニーズや利用できる制度は異なります。また、制度は医療・障害福祉・介護など各種制度を組み合わせ利用することも可能です。難病患者が利用できるさまざまな各種制度について、支援に携わる各職種の理解を深めることを目的に、本研修会を開催いたします。

講師▶ 青森県立中央病院 難病看護師 **澤田 智恵子** 先生

内容▶ 「難病医療費助成：高額かつ長期について」

講師▶ ALS協会青森県支部 事務局長 **成田 俊介** 先生

内容▶ 「意思伝達装置について」

①意思伝達装置とは？②利用方法は？③利用実例の紹介

※なお、次年度は実技研修（呼吸器、コミュニケーションツール、輸液ポンプ）の開催を予定しております。実技研修は関連する講義を受講した方（今回含む）のみご参加できますので、ご注意ください。

※事前に、アプリ「Webex Meetings」をダウンロードしておくと、スムーズにご参加いただけます。



Web開催



Web会議システム“Webex Meetings”を使用。
インターネット通信料は参加者のご負担となります。
Wi-Fi環境下、または通信量無制限サービスご利用の端末での視聴をおすすめします。
スマートフォンからでもご参加いただけます！

受講には事前にメールアドレスの登録が必要です。

【お問い合わせ】

医療連携部 難病相談（担当：町田、浅利）

TEL：017-726-8416 mail：nanbyo_soudan@med.pref.aomori.jp

主催：青森県、青森県立中央病院

後援：青森県難病医療連絡協議会

詳しくは裏面を
ご覧ください。



令和5年度 第3回青森県難病医療ネットワーク研修会 難病患者が利用できる制度やツールについて詳しくなろう！ ～part4.難病とコミュニケーションツール～

【プログラム】

講演1 内容「難病医療費助成について」(20分程度)

講師：青森県立中央病院 難病看護師 澤田 智恵子 先生

講演2 内容「意思伝達装置について」(70分程度)

①意思伝達装置とは？②利用方法は？③利用実例の紹介

講師：ALS協会青森県支部 事務局長 成田 俊介 先生

全体質疑・応答 (10分程度)

【お申し込み】

スマートフォンまたはタブレットからQRコードを読み取るか、
パソコンからURLにアクセスし、**氏名・施設名・職種・電話番号・メールアドレス** ([配布資料を受信できるPCのメールアドレスが望ましい](#)) の入力をお願いいたします。

<https://aomori-kenbyo.jp/departments/medical-cooperation/>



申込〆切日：11月24日（金）

< 申し込みから研修会視聴までの流れ >

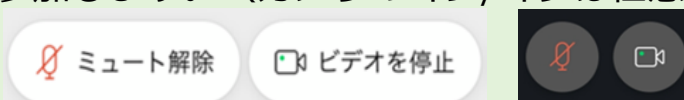
上記にてお申し込みの際にご登録いただいたメールアドレス宛に

- (1) 11月28日(火) までに「受講決定通知」が届きます。
- (2) 12月1日(金) に「研修会参加用の招待メール」が届きます。
- (3) 12月5日(火) に研修会視聴となります。

①招待メール内の **ミーティングに参加する** を選択します。

⇒初めてWebex Meetingsアプリを利用する方で、メール受信時にアプリがダウンロードされていない場合は、「ミーティングに参加する」を選択するとアプリダウンロード画面が表示されます。画面の手順に従ってアプリをダウンロードしてください。ダウンロードが終了したら、アプリ内の「参加」を選択します。その後、名前とメールアドレスの入力画面が表示されます。施設名・氏名（例：〇〇〇クリニック △△太郎）とメールアドレスを入力してください。

② マイクをミュートに設定し参加します。（カメラのオン/オフは任意です）



尚、研修会当日は、30分前より接続可能となっております。参加にご不安の方は、早めに接続し、環境のご確認をお願いいたします。

※インターネット通信料は、参加者のご負担となります。

Wi-Fi環境下、または通信量無制限サービスご利用の端末での視聴をお勧めします。